

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社武蔵野フーズ	事業所名	ムサシノ食品部 所沢工場			
取 組 措 置		具 体 的 取 組 措 置		H27	H28	H29
04	積載率の向上	(01) 商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上	得意先様指定番重を導入して規格標準化を継続する。	○	○	○
04	積載率の向上	(04) 混載便の利用又は共同輸配送の実施	従来の地方デポ混載輸送と併せて、首都圏輸送も一部混載化を図り台数抑制に努める。 又、得意先様の共同輸送を利用する。	○	○	○
05	低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進	(03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	アイドルストップの推奨と無駄なアクセルワーク防止の注意喚起を行う。	○	○	○
06	計画的な貨物輸送の推進	(01) 発注時間及び配送時間のルール化	得意先様と時間を決めて、運行行程の簡素化に努める。	○	○	○
06	計画的な貨物輸送の推進	(02) 多頻度少量輸送の見直し	積載の無いコースは、他センターとの混載化を奨励し積載率の改善に努める。	○	○	○
06	計画的な貨物輸送の推進	(03) 道路混雑時の輸配送の見直し	状況に応じた早出し対応等を行い、運行時間抑制に努める。	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

07 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	少量商品等は関連の物流会社を中継デポとして利用する。	○	○	○
07 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	物量・製造スケジュールを確認し横持台数の抑制に努めている。	○	○	○
08 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	委託物流会社と情報共有化して、無駄な輸送出動の無い様に努める。	○	○	○
09 周辺道路への路上駐停車防止のための取組 ()	待機場所が狭い為、コース毎に時間を定め接車する等、周辺の路駐防止を図る。	○	○	○
10 その他の必要な取組 ()	特需製品出荷の際は事前協議を行い、最小限の台数確保と最短行程を構築しCO2削減に努める。	○	○	○